

令和5年度 科目ナンバリング分類表（学部の言語教育科目および大学院の専攻共通科目[言語教育科目系]）

大分類 LA 言語教育科目					大分類 LA 専攻共通科目の言語教育科目系				大分類 LA 専攻共通科目の言語教育科目系						
学士課程 4年					修士課程 2年				博士課程 3年						
3					3				3						
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 英語	1. インターアクション重視	Interactive English A【1】	Interactive English B【1】							Presentation Strategies【1】	Media English:Listening, Reading and Discussion【2】				
	2. インプット重視		Academic English【2】							Academic Reading【2】	Technical English【1】				学術英語研究【1】
	3. 外部試験対応	Career English Basic【2】	Career English Basic【2】	Career English Intermediate【2】	Career English Intermediate【2】					TOEIC受験集中対策【2】	TOEIC受験集中対策【2】				
	4. 実践・応用			Active English CLIL【1】	Active English CLIL【1】					Content and Language Integrated Learning I【1】	Content and Language Integrated Learning II【1】				
2. ドイツ語		ドイツ語初級基礎A【4】	ドイツ語初級基礎B【4】	ドイツ語中級A【4】	ドイツ語中級B【4】										
		ドイツ語初級演習A【4】	ドイツ語初級演習B【4】	ドイツ語上級A【4】	ドイツ語上級B【4】										
3. フランス語		フランス語初級基礎A【4】	フランス語初級基礎B【4】	フランス語中級A【4】	フランス語中級B【4】										
		フランス語初級演習A【4】	フランス語初級演習B【4】	フランス語上級A【4】	フランス語上級B【4】										
4. 中国語		中国語初級基礎A【4】	中国語初級基礎B【4】	中国語中級A【4】	中国語中級B【4】										
		中国語初級演習A【4】	中国語初級演習B【4】												
9. 日本語		日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語Ⅴ【2】	日本語Ⅵ【2】					日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】
		日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語Ⅶ【2】	日本語Ⅷ【2】					日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】
		日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】							日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】
		日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】							日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】
		日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】							日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】	日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】	日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】
		日本事情Ⅰ【2】	日本事情Ⅱ【2】												
		日本語Ⅰ【2】	日本語Ⅱ【2】												
		日本語Ⅲ【2】	日本語Ⅳ【2】												

留意事項1. 学部の日本語コミュニケーションⅠ～Ⅹについては、補習科目である。
2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表（学部の間教養科目および大学院の専攻共通科目）

大分類 LI 人間教養科目

大分類 LI 専攻共通科目の人文系・高等教養セミナー、自然科学、KIT大学院科目など

大分類 LI 専攻共通科目

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

3

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000				2000				3000				4000				5000		6000		7000				
		1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000		5000		6000		7000						
1. 工学科学教養科目	1. 工学科学入門	工学科学基礎【0】 キャリア教育基礎【0】 国際理解【0】 人権教育【0】	KITスタンダード【0】 学習-キャリア戦略論【0】																							
	2. 科学技術と環境・倫理	地球環境論【0】 環境問題と持続可能な社会【0】 生命倫理と環境倫理【0】 現代科学と倫理【0】 エネルギー科学【0】	環境と法【0】 情報セキュリティと情報倫理【0】 技術の人間学【0】	環境マネジメント【0】																						
	3. ものづくりと技術戦略	ものづくりと生命物質科学【0】 ものづくりと設計工学【0】 ものづくりとデザイン科学【0】	ものづくりと生命物質科学【0】 ものづくりと設計工学【0】 ものづくりとデザイン科学【0】															IGP知的財産権論【1】 ICT活用産業創出論【1】 実践プロセスデザインⅠ【0】	プロジェクト・マネジメント【1】 実践プロセスデザインⅡ【0】	IGP知的財産権特論【1】 ICT活用産業創出特論【1】	プロジェクト・マネジメント特論【1】 実践プロセスデザインⅡ【0】					
	4. リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ【0】 知的財産権論【0】 リーダーシップ実践Ⅰ【0】 リーダーシップ実践Ⅱ【0】 企業金融入門【0】	リーダーシップ基礎Ⅱ【0】 地域連携プロジェクト【0】 プロジェクトマネジメント入門【0】 デザインとブランド【0】 ビジネスと知的財産活用【0】	国際連携プロジェクトⅠ【0】 国際連携プロジェクトⅡ【0】 アントレプレナーシップ概論【0】	ベンチャー企業経営学【0】													テックリーダー演習Ⅰ：起業工学【0】 テックリーダー演習Ⅱ【0】								
	5. 京の伝統文化と先端	文化財学【0】 文化芸術都市としての京都【0】 京の産業技術史【0】 神と世界文化【0】 京都の文学Ⅰ【0】 京都の歴史Ⅰ【0】 現代京都論【0】 京都の自然【0】 近代京都と三大学【0】	京の歴史 伝統産業の先進的ものづくり【0】 京都の農林業【0】 神と世界文化【0】 京都の文学Ⅱ【0】 京都の歴史Ⅱ【0】 宗教と文化【0】 京都の経済【0】 京都の防災と府民【0】 資料で観る京都学「リアルアーツ・ゼミナール」【0】 京都の文化と文化財【0】	京の伝統工芸一技と美【0】 英語で京都【0】	京のまち【0】													京の伝統工芸一技 美 技（課題解決セミナーⅠ）【0】								
2. 基本教養科目	1. 社会科学の基礎	社会学Ⅰ【0】 法学【0】 経済学【0】 国際政治【0】	社会学Ⅱ【0】 政治学【0】 経済学入門【0】 憲法【0】																							
	2. 人間と社会	こころの科学【0】 現代教育論【0】 現代社会とジェンダー【0】 認知心理学【0】 発達心理学【0】 現代医療の人間観【0】	現代社会と心【0】 現代正風論「リアルアーツ・ゼミナール」【0】 医療と社会【0】 食経営学【0】															高等教養セミナー1【2】 高等教養セミナー2【2】 高等教養セミナー4【2】	高等教養セミナー3【2】 高等教養セミナー5【2】 高等教養セミナー6【2】							
	3. 人間と歴史	日本史【0】 アジアの歴史と文化【0】	東西文化交流史【0】 歴史学【0】 ヨーロッパの歴史と文化【0】																							
	4. 文化・芸術	美と芸術【0】 比較宗教学【0】 西洋文学論【0】 日本近代精神史【0】 フランス語圏の文化とジャポニスム【0】 映画で学ぶ英語と文化【0】	哲学【0】 宗教と文化【0】 西洋文化論【0】 日本近現代文学Ⅰ【0】 日本近現代文学Ⅱ【0】 ラテン語【0】 文芸創作論【0】 映画で学ぶドイツ語と文化【0】															制作思想【2】 宗教文化論【2】 高等教養セミナー9【0】 高等教養セミナー13【0】 高等教養セミナー15【0】 高等教養セミナー14【0】	比較文学特論【0】 高等教養セミナー7【0】 高等教養セミナー8【0】 高等教養セミナー10【0】 高等教養セミナー11【0】 高等教養セミナー12【0】 高等教養講義【0】	言語文化情報学【0】	現代思想論【2】					
	5. 自然科学の基礎	物理学Ⅰ【0】 化学概論Ⅰ【0】 生物学概論Ⅰ【0】 生命科学講話【0】	化学概論Ⅱ【0】 生物学概論Ⅱ【0】 医学概論【0】																							
	6. 人間と自然・科学	人と自然と数学αⅠ【0】 人と自然と数学αⅡ【0】 科学史Ⅰ【0】 科学史Ⅱ【0】 食と健康の科学【0】 生物学的人間学【0】 医療人類学【0】 キャンパスヘルス概論【0】 健康体力科学【0】	人と自然と数学β【0】 人と自然と物理学【0】 意外と知らない植物の世界【0】 生体行動科学【0】																生体行動科学特論【2】	バイオメカニクス特論【2】	応用運動生理学【2】					
	7. リベラルアーツ・ゼミナール	現代社会に学ぶ問う力・書く力(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】 レーザーで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】 感性の実験哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】 現代イスラム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】	社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】 世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】 製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】 経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】																							
3. 体の科学	スポーツ科学Ⅰ【0】	スポーツ科学Ⅱ【0】	生涯スポーツ【0】	生涯スポーツ【0】																						

留意事項1. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表 (学部の学域専門基礎科目および大学院の専攻共通科目[数学系、繊維系])

大分類 SB 専門導入科目・学域専門基礎科目

学士課程 4年

大分類 SB 専攻共通科目の数学系・自然科学系・インターンシップ系・KIT大学院科目

修士課程 2年

大分類 SB 専攻共通科目

博士課程 3年

中分類名称 コード	小分類名称 コード	3				3				3	
		1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000			
1. 数学	1. 代数学		線形代数学Ⅰ【0】	線形代数学Ⅱ【0】				数理応用代数【0】	代数学セミナー【0】	数理応用代数【0】	
	2. 幾何学				応用幾何【0】			数理応用幾何【2】	幾何学セミナー【2】	数理応用幾何【2】	
	3. 解析学		基礎解析Ⅰ【0】 解析Ⅰ【0】	基礎解析Ⅱ【0】 解析Ⅱ【0】	応用解析【0】 応用数理【0】	数理解析【0】		数理応用解析【0】	解析学セミナー【2】	数理応用解析【0】	
	4. 統計数学		統計数理【0】					データサイエンスの数理【2】	確率論セミナー【2】	データサイエンスの数理【2】	
	5. 分野横断型科目		数学演習Ⅰ【0】	数学演習Ⅱ【0】					数理応用演習【2】 数理科学特論Ⅰ【0】 数理科学特論Ⅱ【0】 数理科学特論Ⅲ【2】		数理解析学【2】 応用解析学【2】
2. 物理学	1. 力学		物理学Ⅰ【0】	力学【0】							
	2. 電磁気学			物理学Ⅱ【0】							
	3. 統計熱力学				統計熱力学【0】						
	4. 量子力学					量子力学【0】					
	5. 実験・実習		物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験【0】	物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験【0】							
3. 化学		化学Ⅰ【0】 物理化学Ⅰ【0】 無機化学Ⅰ【0】 有機化学Ⅰ【0】 化学基礎実験【0】 物理化学演習【0】 有機化学演習【0】	化学Ⅱ【0】 物理化学Ⅱ【0】 物理化学Ⅲ【0】 有機化学Ⅱ【0】 化学基礎実験【0】 分析化学【0】 高分子化学【0】	環境化学【0】 化学工学Ⅰ【0】					環境化学特論【2】		
4. 生物学		生物学Ⅰ【0】 生物化学Ⅰ【0】 生物学基礎実験A【0】	生物学Ⅱ【0】 生物化学Ⅱ【0】 資源生物と環境【0】								
5. 情報		情報・データリテラシー概論【0】 情報データリテラシー演習【0】	情報処理演習【0】	学術国際情報【0】	先端情報工学概論【0】			人工知能(機械学習)応用論【0】 IoTシステム構成論【0】 産業応用システム論Ⅰ(RFIDシステム)【0】 産業応用システム論Ⅱ(スマート・モビリティ)【0】 産業応用システム論Ⅲ(システム製品開発概論)【0】			
6. 繊維系		繊維科学基礎【0】		複合材料ものづくり実験【0】 サステイナブルマテリアル【0】 染色科学【0】	繊維科学概論【0】 複合材料科学【0】 生物繊維材料科学【0】 先端複合材料科学【0】 複合材料基礎実験【0】			繊維系合同演習【0】 アカデミックインターンシップⅠ(国内)【0】 アカデミックインターンシップⅡ(国内)【0】 アカデミックインターンシップ(海外)【0】 繊維・ファイバー工学特論Ⅰ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅱ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅲ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅳ【1】	繊維系資格概論【0】 繊維基礎科学【0】		
7. 知的財産											
0. その他		絵画実習【0】	新先端ファイブ科学【0】	インターンシップA【0】 インターンシップB【0】 地学Ⅰ【0】 地学Ⅱ【0】 地学実験【0】 生体機能論【0】 スポーツバイオメカニクス【0】				ビジネスエンジニアリング論【0】 マテリアルズイノベーション論【0】	インターンシップⅠ【0】 インターンシップⅡ【0】 グローバルインターンシップⅠ【1】 グローバルインターンシップⅡ【1】 dCEPセッション(M)Ⅰ【2】 dCEPセッション(M)Ⅱ【2】 dCEPセッション(M)Ⅲ【2】 dCEPセッション(M)Ⅳ【2】 HDSMSインターンシップ【1】 グローバルイノベーションプログラムⅡ【2】 国際協働プロジェクト【2】 デザインリサーチ論【2】 産学協働プロジェクトⅠ【2】	dCEPセッション(D)Ⅰ【2】 dCEPセッション(D)Ⅱ【2】 dCEPセッション(D)Ⅲ【2】 dCEPセッション(D)Ⅳ【2】 グローバルイノベーションプログラムⅠ【2】 プロトタイプ論【2】 産学協働プロジェクトⅡ【2】	視知覚理論【2】 dCEPセッション(D)Ⅰ【2】 dCEPセッション(D)Ⅱ【2】 dCEPセッション(D)Ⅲ【2】 dCEPセッション(D)Ⅳ【2】 ビジネスエンジニアリング特論【0】 マテリアルズイノベーション特論【0】 リーガルデザイン論【2】 ビジネスデザイン論【2】 HDSMSインターンシップアドバンス【1】

留意事項1. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。
2. 網掛けを付した科目については、大学院と学部同時に開講しているもの。
3. すべての課程・専攻に配当されている科目についてまとめたものであるため、所属する課程・専攻によって履修できない科目もある。
履修可能かどうかは、教科課程表の履修区分を参照のこと。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表（応用生物学課程、応用生物学専攻、バイオテクノロジー専攻分）

大分類 AB 応用生物学課程					大分類 AB 応用生物学専攻					大分類 BT バイオテクノロジー専攻				
学士課程 4年					修士課程 2年					博士課程 3年				
3					3					3				
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000						
1. 応用生物学 実験/実習	1. 演習	専門導入ゼミ【0】 地域課題導入セミナーⅠ【0】 地域課題導入セミナーⅡ【0】	(情報処理演習)	(学術国際情報) 基礎研究・演習【0】 地域創生課題セミナーⅡ【0】 地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅢ【0】	卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】		特別研究【2】 応用生物学特別実験及び演習Ⅰ【0】 応用生物学特別実験及び演習Ⅱ【0】 応用生物学インターンシップⅠ【0】 応用生物学インターンシップⅡ【0】 国際インターンシップ【2】	研究指導【2】 バイオテクノロジー特別演習Ⅰ【0】 バイオテクノロジー特別演習Ⅱ【0】 バイオテクノロジーインターンシップⅠ【0】 バイオテクノロジーインターンシップⅡ【0】						
	2. 実験/実習		自然観察学【0】 生物生産学実習【0】 (生物学基礎実験A) (化学基礎実験)	生物機能学・分子生物学実験【0】 生物機能学・分子生物学実験Ⅱ【0】			国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】 遺伝資源実習及び演習 昆虫バイオメディカル特別実験及び演習【0】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】						
2. 応用生物学 専門コア科目	1. 生物学/機能系		細胞生物学【0】 微生物学【0】 生物統計学【0】	動物生理学【0】 遺伝学【0】	植物生理学【0】 昆虫生理学【0】 集団の遺伝学【0】									
	2. 生化学/分子系		生物化学Ⅰ【0】	生物化学Ⅱ【0】 分子生物学【0】 生態分子化学【0】	昆虫工学【0】									
3. 応用生物学 専門アドバンス科目	1. 生物学/機能系		資源昆虫生産学実験実習【0】 昆虫機能開発学【0】 栽培環境学【0】	生物基礎英語演習【2】 昆虫機能開発学【0】 神経科学【0】 生体科学のデータサイエンス演習【0】	運動機能学【0】 応用生物学特論Ⅱ【0】 応用生物学特論Ⅰ【0】	バイオテクノロジー概論Ⅰ【0】	細胞機能学特論【2】 生体機能学特論【2】 進化ゲノム学特論【2】 資源植物学特論【2】 応用ゲノミクス特論【2】 バイオメディカル学特論【2】	資源昆虫学特論【2】 昆虫生理機能学特論【2】 食品バイオテクノロジー特論【2】 染色体工学特論【2】 植物分子工学特論【2】 昆虫工学特論【2】 環境・生態学【2】						
	2. 生化学/分子系			細胞工学【0】 植物機能科学【0】 モデル生物学【0】		バイオテクノロジー概論Ⅱ【0】	生体分子機能学特論【2】 構造生物学特論【2】 微生物工学特論【2】 疾患モデル昆虫学特論【0】 ヘルスサイエンス学特論Ⅰ【0】	食品バイオテクノロジー特論【2】 染色体工学特論【2】 植物分子工学特論【2】 昆虫工学特論【2】 応用昆虫ウイルス学特論【0】 ヘルスサイエンス学特論Ⅱ【0】						
(参考) 応用生物学域 専門基礎科目			(生物学Ⅰ【0】) (化学Ⅰ【0】) (物理学Ⅰ【0】) (基礎解析Ⅰ【0】) (線形代数Ⅰ【0】) (有機化学Ⅰ【0】) (無機化学Ⅰ【0】) (物理学基礎実験【0】)	(生物学Ⅱ【0】) (化学Ⅱ【0】) (物理学Ⅱ【0】) (基礎解析Ⅱ【0】) (線形代数Ⅱ【0】) (資源生物と環境【0】) (有機化学Ⅱ【0】) (物理学基礎実験【0】)	(地学実験【0】) (インターンシップA【0】) (インターンシップB【0】)									

留意事項 1. 括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目)の大分類コードから始まるナンバリングが適用される。
2. 下線を付した科目については他課程教員が担当しているものである。
3. 網掛けの科目については大学院の特別教育プログラム科目である。

※【】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表 (応用化学課程, 物質合成化学専攻, 機能性物質化学, 材料創製化学専攻, 材料制御化学専攻分, 物質・材料化学専攻)

大分類 AP 応用化学課程

大分類 IM 材料創製化学, MC 材料制御化学専攻, MS 物質合成化学専攻, FC 機能性物質化学専攻

大分類 MC 物質・材料化学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

3

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000		
1. 実習系	1. 実験			応用化学実験Ⅰ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅢ【0】	応用化学実験Ⅱ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】	卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】	材料創製化学特別実験及び演習Ⅰ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅱ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅲ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅳ(IM)【0】 材料創製化学特別実験ⅠD(IM)【0】 材料創製化学特別実験ⅡD(IM)【0】 材料創製化学特別実験ⅢD(IM)【0】 材料創製化学特別実験ⅣD(IM)【0】 材料創製化学インターンシップⅠ(IM)【0】 材料創製化学インターンシップⅡ(IM)【0】 Internship/Professional training(IM,MC)【1】 特別研究(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(IM)【2】 材料制御化学特別実験及び演習ⅠD(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習ⅡD(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習ⅢD(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習ⅣD(MC)【0】 材料制御化学特別実験Ⅰ(MC)【0】 材料制御化学特別実験Ⅱ(MC)【0】 材料制御化学特別実験Ⅲ(MC)【0】 材料制御化学特別実験Ⅳ(MC)【0】 材料制御化学インターンシップⅠ(MC)【0】 材料制御化学インターンシップⅡ(MC)【0】 特別研究(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(MC)【2】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅰ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅱ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅲ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅳ(MS)【0】 物質合成化学インターンシップⅠ(MS)【0】 物質合成化学インターンシップⅡ(MS)【0】 特別研究(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(MS)【2】 機能性物質化学特別実験及び演習Ⅰ(FC)【0】 機能性物質化学特別実験及び演習Ⅱ(FC)【0】 機能性物質化学特別実験Ⅰ(FC)【0】 機能性物質化学特別実験Ⅱ(FC)【0】 機能性物質化学インターンシップⅠ(FC)【0】 機能性物質化学インターンシップⅡ(FC)【0】 特別研究(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(FC)【2】	物質・材料化学特別演習Ⅰ【0】 物質・材料化学特別演習Ⅱ【0】 物質・材料化学インターンシップⅠ【0】 物質・材料化学インターンシップⅡ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】		
		2. 実験基礎		実験解析【0】						
		3. セミナー	地域課題導入セミナーⅠ【0】 地域課題導入セミナーⅡ【0】	応用化学序論Ⅰ【0】	応用化学序論Ⅱ【0】	地域創生課題セミナーⅡ【0】 コースゼミ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】			ビジネスエンジニアリング特論【0】 マテリアルズイノベーション特論【0】 コンソーシアムプロジェクト【0】
		2. 物理系	1. 物性基礎			統計物理学【0】 振動・波動【0】 固体熱力学【0】	シミュレーション物理学【0】			光エネルギー物質科学【2】
		3. 物理化学系	1. 熱力学・反応速度							制御分子構造学【2】
			2. 量子物理化学				分子量子化学【0】			電子機能高分子創成学【2】 光機能高分子創成学【2】
		4. 無機・分析化学系	1. 無機化学・固体化学		無機化学Ⅱ【0】 無機化学演習【0】	固体物性論【0】		応用固体化学(IM)【2】 無機材料物性学(IM)【2】 無機材料計算化学(MC)【2】		ナノ構造物質学【2】
			2. 無機材料化学			金属材料学【0】 無機材料化学Ⅰ【0】	無機材料化学Ⅱ【0】	ガラス・アモルファス材料科学(IM)【2】 無機構造材料科学(MC)【2】 無機材料応用科学(IM,MC)【2】	Metal forming technologies(IM,MC)【1】 Materials for mechanical industries(IM,MC)【1】	ナノ物質加工学【2】
			3. 分析化学		応用分析化学【0】	有機機器分析【0】 材料機器分析概論【0】		分離分析化学(FC)【2】 分離媒体設計論(MS)【2】		分離機能材料学【2】
		5. 有機化学系	1. 有機反応化学		有機化学Ⅲ【0】	有機化学Ⅳ【0】	精密合成化学【0】 有機反応化学【0】 有機金属化学【0】	有機ヘテロ原子化学(MS)【2】 触媒反応設計論(MS)【2】	有機反応制御化学(MS)【2】	立体機能物質化学【2】 精密物質合成学【2】
	2. 有機材料化学				有機材料設計【0】 精密材料化学【0】	有機分子材料化学(MS)【2】 有機精密材料学(MS)【2】	バイオメテック合成化学(MS)【2】	精密重合高分子【2】		
6. 高分子材料系	1. 高分子合成			高分子材料化学【0】		高分子物質設計論(MS)【2】	Science and Technology of Functional Materials(IM,MC)【1】 Science and Technology of Composite Materials(IM,MC)【1】	ソフトマテリアル創成学【2】		
	2. 高分子構造			高分子レオロジー【0】 高分子構造学【0】		層構造形成論(MC)【2】 高分子構造・力学(MC)【2】	機能高分子材料(IM)【2】	繊維性高分子材料組織学【2】		
	3. 高分子物性		高分子物性【0】	液晶・高分子物性【0】 ナノ材料物理化学【0】 高分子分子物性【0】		光電子材料化学(IM)【2】 高分子物性論(MC)【2】	ナノ材料物性(IM, MC)【2】	高分子形態制御学【2】 高分子機能物性学【2】		
7. 生体・環境化学系	1. 生体関連化学		生化学Ⅰ【0】	生化学Ⅱ【0】 機能分子科学Ⅰ【0】 生体分子工学【0】	生化学Ⅲ【0】 機能分子科学Ⅱ【0】	生体反応機構論(FC)【2】 高分子生化学機能(FC)【2】	生体制御分子設計(FC)【2】 タンパク質機能構造(FC)【2】	生体分子機能化学【2】 生体分子機構解析学【2】		
	2. 天然物質・繊維系			ファイバーサイエンス【0】		繊維システム論(MC)【2】	天然高分子材料(FC)【2】 応用バイオ繊維科学(IM, FC)【2】	生体分子設計学【2】		
	3. 環境・化学工学			化学工学Ⅱ【0】	生物化学工学【0】 技術者倫理【0】 環境と高分子【0】	化学工学特論(MS,FC)【2】	バイオベースポリマー(MC,MS,FC)【2】 High-performance fibers for composites, sportswear and protection(IM,MC)【1】	環境物質化学【2】		

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表 (電子システム工学課程, 電子システム工学専攻)

大分類 EL 電子システム工学課程

大分類 EL 電子システム工学専攻

大分類 EL 電子システム工学専攻

		学士課程 4年				修士課程 2年		博士課程 3年		
		3				3		3		
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000		
1. 総合科目	1. 実験・実習・セミナー	電子システム工学セミナーI【0】 電子システム工学セミナーII【0】 地域課題導入セミナー I【0】 地域課題導入セミナー II【0】	電子システム工学基礎実験【0】	電子システム工学実験及び設計IA【0】 電子システム工学実験及び設計IB【0】 地域創生課題セミナーII【0】 ものづくりインターンシップII【0】 ものづくりインターンシップIII【0】	電子システム工学実験及び設計IIA【0】 電子システム工学実験及び設計IIB【0】 地域創生課題セミナーI【0】 ものづくりインターンシップI【0】			電子システム工学インターンシップI【0】 電子システム工学インターンシップII【0】 特別課題実験及び演習I【0】 特別課題実験及び演習II【0】 電子システム工学特別実験及び演習I【0】 電子システム工学特別実験及び演習II【0】 国際科学技術特別実験及び演習I【2】 国際科学技術特別実験及び演習II【2】 国際科学技術特別実験及び演習III【2】	国際インターンシップ【2】 国際科学技術特別実験及び演習II【2】 国際科学技術特別実験及び演習IV【2】	グローバルインターンシップIII【2】 グローバルインターンシップIV【2】 電子システム工学インターンシップIII【0】 電子システム工学インターンシップIV【0】 電子システム工学特別演習I【0】 電子システム工学特別演習II【0】 イノベーションプロジェクト【2】 国際科学技術特別演習I【2】 国際科学技術特別演習II【2】
	2. 講義									
	3. 研究				卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】			特別研究【2】		研究指導【2】
2. 材料物性・デバイス	1. 材料物性		電子物性基礎論【0】	電子材料工学【0】			電子物性特論【2】 ナノ構造科学【2】 知能性材料システム工学【2】		ナノ構造論【2】 光材料工学【2】 電子材料論【2】	
	2. デバイス			電子デバイス【0】 センサ工学【0】		マイクロデバイス工学【2】	電子デバイス特論【2】 エネルギー変換デバイス【2】		電子デバイス論【2】 半導体プロセス技術【2】	パワー半導体デバイス論【2】 機能性薄膜応用デバイス工学【2】
	3. プロセス・評価					半導体薄膜工学【2】	半導体加工・評価技術【2】			
3. 電磁気エネルギー	1. 数学		電子システム数理解基礎論【0】							
	2. 電磁気・電磁波		電磁気学および演習IA【0】 電磁気学および演習IB【0】	電磁気学IIA【0】 電磁気学IIB【0】	電磁気学III【0】 電磁波工学【0】		電磁波工学特論A【2】 電磁波工学特論B【2】			電磁機能構造設計理論【2】
	3. 光エレクトロニクス			フォトリソ【0】 フォトニクスII【0】 光学基礎【0】		有機電子デバイス工学【2】 応用光学【2】	光波工学【2】 量子光学【2】		情報光学【2】 光子量子工学【2】	集積フォトニクス【2】 ナノ光子工学【2】
	4. エネルギー				プラズマ工学【0】 電気エネルギー工学【0】		プラズマ解析学【2】		プラズマ物性工学【2】 電磁エネルギー科学【2】	プラズマ計測技術【2】
4. 通信・制御	1. 信号処理・通信		情報基礎論【0】 デジタル信号処理【0】		通信システム工学【0】		光通信工学【2】		通信信号処理【2】 情報伝送論【2】	
	2. 制御			制御工学【0】						
5. 回路	1. 電気回路		電気回路【0】 電気回路演習【0】 高周波回路【0】	回路解析【0】 回路解析演習【0】						
	2. 電子回路		論理設計【0】	デジタル電子回路【0】 アナログ電子回路【0】	集積回路工学【0】	集積回路工学特論【2】	FPGA回路設計【0】		集積システム工学【2】 集積回路設計論【2】	
6. 情報	1. 計算機・ネットワーク				コンピュータシステム【0】					
	2. プログラミング		情報・データリテラシー【0】 プログラミング演習【0】	AI・データサイエンス基礎【0】	計算モデル論【0】					

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0:日本語で行う授業
- 1:英語で行う授業
- 2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3:英語以外の外国語で行う授業
- 4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表 (情報工学課程, 情報工学専攻, 設計工学専攻)

大分類 IS 情報工学課程

大分類 IS 情報工学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年				修士課程 2年				博士課程 3年			
3				3				3			

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 情報工学基礎・実習	1. プロジェクト実習・実験	情報工学セミナー【0】		プロジェクト実習Ⅰ【0】	プロジェクト実習Ⅱ【0】	プロジェクト実習Ⅲ【0】	卒業研究【0】		設計工学特別演習Ⅰ【0】
		地域課題導入セミナーⅠ【0】			地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業プロジェクト【0】		設計工学特別演習Ⅱ【0】
		地域課題導入セミナーⅡ【0】			ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】			研究指導【2】
					ものづくりインターンシップⅢ【0】				
	2. プログラミング・アルゴリズム	情報工学概論【0】		プログラミングⅡ【0】	プログラミングⅠ【0】	システム最適化【0】	言語処理プログラミング【0】		
				ソフトウェア演習Ⅱ【0】	データ構造とアルゴリズム【0】	ネットワークプログラミング【0】			
				ソフトウェア演習Ⅰ【0】					
	3. 情報リテラシー		(情報セキュリティと情報倫理) (技術の人間学)	(情報・データリテラシー概論)					
	2. ハードウェア	1. 電気・電子回路			エレクトロニクス【0】	デジタル電子回路【0】			
2. コンピュータアーキテクチャ			論理設計【0】	コンピュータシステム【0】			コンピュータシステム特論【2】	情報基盤工学【2】	
3. ソフトウェア	1. ソフトウェア開発		ソフトウェア工学【0】	組み込みシステム設計論【0】			ソフトウェアメトリクス論【2】	ソフトウェアマイニング分析論【2】	
	2. ソフトウェア基礎				コンパイラ【0】	オペレーティングシステム【0】		オペレーティングシステム特論【2】	
					データベースⅠ【0】	プログラミング言語論【0】		ビックデータ管理論【2】	
					データベースⅡ【0】				
	3. メディアインタラクション			ヒューマンインタフェース【0】	AI・データサイエンス基礎【0】	AI・データサイエンス応用【0】	知的インタラクションデザイン【0】	インタラクティブシステム特論【2】	
							機械学習特論【2】		
						マルチメディア効果論【2】	データサイエンス特論【2】		
4. 通信・システム	1. 情報・ネットワーク		情報理論【0】	情報セキュリティ【0】	情報ネットワーク【0】		情報ネットワーク特論【2】	情報伝送システム論【2】	
	2. システム・制御						ワイヤレス通信技術論【2】		
					システム論【0】	制御工学【0】			
	3. 信号処理							ダイナミカルシステム論【2】	
				デジタル信号処理【0】		画像工学【0】			
								IoTプロセッシング特論【2】	コンピュータビジョン【2】

留意事項・括弧書きの科目は人間教養科目および学域専門基礎科目であり、人間教養科目はL(人間教養科目の大分類コード)、学域専門基礎科目はSB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表（機械工学課程, 機械物理学専攻, 機械設計学専攻, 設計工学専攻分）

大分類 ME 機械工学課程					大分類 MP 機械物理学専攻, MD 機械設計学専攻					大分類 ED 設計工学専攻				
学士課程 4年					修士課程 2年					博士課程 3年				
3					3					3				
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	8000	9000	0000	1000	2000	3000
1. 研究系	1. 研究系	地域課題導入セミナーⅠ【0】		地域創生課題セミナーⅡ【0】	卒業研究【0】									
		地域課題導入セミナーⅡ【0】		ものづくりインターンシップⅡ【0】	卒業論文【0】									
2. 機械設計・実験・シミュレーション系	2. 機械工学リテラシー	エンジニアのためのリテラシー【0】		機械工学実験Ⅰ【0】	卒業プロジェクト【0】									
	1. 実験系			機械工学実験Ⅱ【0】										
	2. 設計・製図		機械製図法ⅠA【0】	機械製図法Ⅱ【0】	卒業論文【0】									
	3. 工業力学		工業力学Ⅰ【0】	工業力学Ⅱ【0】	卒業論文【0】									
3. 熱・流体力学	1. 流体力学		流体力学Ⅱ及び演習【0】	流体力学Ⅰ及び演習【0】										
	2. 熱力学		熱力学Ⅰ及び演習【0】	熱力学Ⅱ及び演習【0】	熱エネルギー輸送現象【0】									
4. 材料・加工学	1. 材料力学		材料力学Ⅱ及び演習【0】	材料力学Ⅰ及び演習【0】	機械構造解析学【0】									
	2. 工業材料学		工業材料学【0】	材料強度学【0】										
	3. 加工学		機械加工法及び実習【0】	塑性加工学【0】										
5. 計測・制御工学	1. 機械力学		機械力学Ⅰ及び演習【0】	機械力学Ⅱ及び演習【0】										
	2. 計測工学		計測基礎学【0】	工業計測法【0】										
	3. 制御工学		システム制御理論【0】	ロボティクス【0】	最適制御システム【0】									

※【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表 (デザイン・建築学課程, デザイン学専攻, 建築学専攻分)

大分類 DA デザイン・建築学課程

学士課程 4年

3

x

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000
1. 総合共通科目	1. 基礎科学		(基礎解析Ⅰ) (線形代数Ⅰ) (統計数理) (数学演習Ⅰ) (物理学Ⅰ) (化学Ⅰ) (生物学Ⅰ)	(基礎解析Ⅱ) (線形代数Ⅱ) (数学演習Ⅱ) (力学) (物理学Ⅱ) (化学Ⅱ) (生物学Ⅱ)	統計熱力学 (環境化学) (量子力学)
	2. 広域教養科目	地域課題導入セミナー【0】 ソーシャルインタラクションデザイン概論【0】	デザイン・建築表現演習【0】 ソーシャルインタラクションデザイン演習【0】	情報処理演習【0】	庭園実学論【0】 地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅢ【0】
	3. 共通実習	デザイン・建築基礎実習【0】	(絵画実習) (インターンシップA) (インターンシップB)		デザイン・建築学実習【0】
	4. 修了指導				卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】
2. 建築計画論	1. 建築計画		建築計画Ⅰ【0】 建築計画Ⅱ【0】	住環境計画【0】	
	2. 建築史		近代建築史【0】 西洋建築史【0】	都市史Ⅰ【0】 日本建築史【0】	都市史Ⅱ【0】
	3. 建築論		景観論【0】 建築概論【0】		都市・建築遺産論【0】
3. 建築技術論	1. 建築構造		建築構造力学Ⅱ【0】	建築構造力学Ⅰ【0】 建築構造設計Ⅰ【0】 造形材料【0】	建築構造設計Ⅱ【0】 建築構造材料実験【0】
	2. 環境工学		環境調整【0】 建築設備【0】		建築環境工学演習【0】 空気調整設備【0】
	3. 生産・法規			建築法規【0】	建築生産【0】
4. 建築実習	1. 建築設計		建築設計実習Ⅰ【0】 建築設計実習Ⅱ【0】	建築設計実習Ⅱ【0】 建築設計実習Ⅲ【0】	建築設計実習Ⅳ【0】
	2. 保存再生				伝統建築実習【0】
	3. 総合実習				
5. デザイン理論	1. デザイン論		デジタルコミュニケーションデザイン論【0】 製品デザイン技術論【0】 ファッションデザイン論【0】 デザイン史【0】	室内意匠計画【0】 場のマネジメント【0】	グラフィックデザイン論【0】 デザイン方法論【0】 デザインマネジメント【0】 デザイン経営工学事例研究【0】
	2. 美術史・芸術論		美術史【0】 美学・感性論【0】		現代芸術論【0】
	3. 美術館・博物館学				博物館概論【0】
	4. エンジニアリング		資源環境論【0】 生産・材料工学【0】		感性工学【0】
	5. マネジメント		マーケティング論【0】	企業経営学概論【0】	
6. デザイン実習	1. デザインプロジェクト		プロジェクトデザインⅠ【0】	プロジェクトデザインⅡ【0】	プロジェクトデザインⅢ【0】 プロジェクトデザインⅣ【0】
	2. 総合実習		デザインプラクティスⅠ【0】	デザインプラクティスⅡ【0】	デザインプラクティスⅢ【0】
	3. 美術館・博物館実習				

留意事項 1. 括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SD(専門基礎科目)の大分類コードから始まるナンバリングが適用されます。
2. 二重下線の科目は、春学期または秋学期のみで開講する科目となります。
3. 【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表 (デザイン・建築学課程, デザイン学専攻, 建築学専攻分)

大分類 AR 建築学専攻, DS デザイン学専攻, CH 京都工芸繊維大学・フェリス学院大学国際連携建築学専攻

大分類 AR 建築学専攻, DS デザイン学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

3		3		3	
中分類名称 コード	小分類名称 コード	5000	6000	7000	7000
1. 総合共通科目	1. 基礎科学				
	2. 広域教養科目	都市デザイン(ARCH) [2] 建築デザイン(ARCH) [2]		Development and Management of Local Wisdom and Global Technology(CH) [1]	
	3. 共通実習		Seminar in Architecture I(CH)[1] Seminar in Architecture II(CH)[1] Seminar in Architecture III(CH)[1] Seminar in Architecture IV(CH)[1]	Seminar in Architecture I(CH)[1] Seminar in Architecture II(CH)[1] Seminar in Architecture III(CH)[1] Seminar in Architecture IV(CH)[1]	
	4. 修了指導		特別制作(ARCH) [2] 特別研究・特定課題制作又は論文(DS) [2] 研究指導(AR,DS,CH) [2] Thesis(CH) [1] Independent Study(CH) [1]		研究指導(AR,DS) [2]
2. 建築理論	1. 建築計画		住居環境計画マニフェスト(ARCH) [2] 地域設計プロジェクト I(ARCH) [2] 地域設計プロジェクト II(ARCH) [2] Urban and Community Planning(CH) [1] Dynamics and Practices in Urban Design(CH) [1]	地域設計プロジェクト III(ARCH) [2] 地域設計プロジェクト IV(ARCH) [2] Urban and Community Planning(CH) [1] Dynamics and Practices in Urban Design(CH) [1]	建築・都市再生機構学(AR) [2] 保存再生設計学(AR) [2] 地域設計プロジェクト特論 I(AR) [2] 地域設計プロジェクト特論 II(AR) [2] 地域設計プロジェクト特論 III(AR) [2] 地域設計プロジェクト特論 IV(AR) [2]
	2. 建築史	建築史(ARCH) [2] 都市史(ARCH) [2]	建築保存再生技術(ARCH) [0] Selected Topics in Architectural History and Theory(CH) [1] Advanced Professional Practices(CH) [1] Theories and Philosophies in Vernacular Architecture(CH) [1] Research Approaches in Vernacular Architecture(CH) [1] Dynamics of Vernacular Architecture(CH) [1]	Selected Topics in Architectural History and Theory(CH) [1] Advanced Professional Practices(CH) [1] Theories and Philosophies in Vernacular Architecture(CH) [1] Research Approaches in Vernacular Architecture(CH) [1] Dynamics of Vernacular Architecture(CH) [1]	
	3. 建築論		Advanced Specific Architectural Knowledge(CH) [1] Critical Theories of Architecture(CH) [1] Critical Discourses of Architecture(CH) [1]	Urban Architecture(CH) [1] Research Methodology in Architecture(CH) [1] Advanced Specific Architectural Knowledge(CH) [1] Critical Theories of Architecture(CH) [1] Critical Discourses of Architecture(CH) [1]	伝統建築学(AR) [2]
3. 建築技術論	1. 建築構造		建築構造学(ARCH) [2] 建築構造設計技術(ARCH) [0] Quantitative Research Methods in Architecture(CH) [1] Qualitative Research Methods in Architecture(CH) [1] Dynamics and Behaviors of Architectural Materials(CH) [1] Building Technology(CH) [1]	Quantitative Research Methods in Architecture(CH) [1] Qualitative Research Methods in Architecture(CH) [1] Dynamics and Behaviors of Architectural Materials(CH) [1] Building Technology(CH) [1]	
	2. 環境工学		建築環境・設備論(ARCH) [2] 建築設備設計技術(ARCH) [0] Architectural Technology and Sustainable Environment(AR,CH) [1] Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design(CH) [1] Environmental Perception and Assessment(CH) [1] Selected Topics in Environment and Behavior(CH) [1]	Architectural Technology and Sustainable Environment(AR,CH) [1] Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design(CH) [1] Environmental Perception and Assessment(CH) [1] Selected Topics in Environment and Behavior(CH) [1]	
	3. 生産・法規		都市・地域設計マニフェスト(ARCH) [2] 実空間デザイン建築(ARCH) [0] Architectural Measurement(CH) [1] Environmental Perception and Assessment	Architectural Measurement(CH) [1]	
4. 建築実習	1. 建築設計		国際設計プロジェクト I(ARCH) [0] 国際設計プロジェクト II(ARCH) [0] Graduate Design Studio in Architecture III(CH) [1] 国際共同設計実習(ARCH) [0] Research for Architectural Design(CH) [1] 建築設計実習(ARCH) [1] 都市・建築実習 I(ARCH) [0] 都市・建築実習 II(ARCH) [0] 建築都市保存再生プロジェクト I(ARCH) [2] 建築都市保存再生プロジェクト II(ARCH) [2] Theory of Architecture in Asia(CH) [1] Theory of Architecture in Asia(CH) [1]	国際設計プロジェクト III(ARCH) [0] 国際設計プロジェクト IV(ARCH) [0] Graduate Design Studio in Architecture I(CH) [1] Graduate Design Studio in Architecture II(CH) [1] 国際共同設計実習(CH) [1] Research for Architectural Design(CH) [1] 建築設計実習(ARCH) [1] 都市・建築実習 I(ARCH) [0] 都市・建築実習 II(ARCH) [0] 建築都市保存再生プロジェクト III(ARCH) [2] 建築都市保存再生プロジェクト IV(ARCH) [2] Advanced Graduate Design Studio in Architecture(CH) [1] Theory of Architecture in Asia(CH) [1] Theory of Architecture in Asia(CH) [1]	建築設計プロジェクト I(AR) [0] 建築設計プロジェクト II(AR) [0] 建築設計プロジェクト特論 I(AR) [0] 建築設計プロジェクト特論 II(AR) [0] 建築設計プロジェクト特論 III(AR) [0] 建築設計プロジェクト特論 IV(AR) [0] 都市・建築実習 I(AR) [0] 都市・建築実習 II(AR) [0] 都市・建築実習 III(AR) [0] 都市・建築実習 IV(AR) [0] 都市・建築実習 V(AR) [0] 都市・建築実習 VI(AR) [0] 都市・建築実習 VII(AR) [0] 都市・建築実習 VIII(AR) [0] 都市・建築実習 IX(AR) [0] 都市・建築実習 X(AR) [0] 都市・建築実習 XI(AR) [0] 都市・建築実習 XII(AR) [0] 都市・建築実習 XIII(AR) [0] 都市・建築実習 XIV(AR) [0] 都市・建築実習 XV(AR) [0] 都市・建築実習 XVI(AR) [0] 都市・建築実習 XVII(AR) [0] 都市・建築実習 XVIII(AR) [0] 都市・建築実習 XIX(AR) [0] 都市・建築実習 XX(AR) [0]
	2. 保存再生				
	3. 総合実習				
5. デザイン理論	1. デザイン論	デザイン学特別講義(ADS) [0] デザインとマニフェスト(DS) [2] 人と境(DS) [2] 伝統文化とデザイン(DS) [2] デザインと技術(DS) [2] デザイン学特別講義(BDS) [0]			プロジェクトデザイン論(DS) [2] 機能デザイン論(DS) [2]
	2. 美術史・芸術論	キュレーションとメディア(DS) [2] 映像と感性(DS) [2]			
	3. 美術館・博物館学	展示と空間(DS) [2]			
6. デザイン実習	1. デザインプロジェクト		アドバンストデザインプロジェクト I(DS) [2] アドバンストデザインプロジェクト II(DS) [2] プロジェクトデザイン(ADS) [2]	プロジェクトデザイン(ADS) [2]	
	2. 総合実習	ソーシャルインタラクションデザイン(DS) [2]	フィジカルインタラクションデザイン(DS) [2] グローバルイノベーションプログラム II(AR,DS) [2] デザイン・インターンシップ I(DS) [0] デザイン・インターンシップ II(DS) [0] デザイン学特別実習(ADS) [2] デザイン学実習(ADS) [0] iCEPセッション(M) I(AR,DS) [1] iCEPセッション(M) II(AR,DS) [1]	グローバルイノベーションプログラム I(AR,DS) [2] デザイン学特別実習(BDS) [2] iCEPセッション(M) I(AR,DS) [1] iCEPセッション(M) II(AR,DS) [1]	デザイン学特別実習 I(DS) [0] デザイン学特別実習 II(DS) [0] デザイン学特別実習 III(DS) [0] デザイン学特別実習 IV(DS) [0] デザイン学特別実習 V(DS) [0] iCEPセッション(D) I(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) II(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) III(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) IV(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) V(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) VI(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) VII(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) VIII(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) IX(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) X(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XI(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XII(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XIII(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XIV(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XV(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XVI(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XVII(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XVIII(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XIX(AR,DS) [1] iCEPセッション(D) XX(AR,DS) [1]
	3. 美術館・博物館実習		キュレーション実習(ADS) [2] キュレーション実習(ADS) [2] キュレーション実習(ADS) [2] キュレーション実習(ADS) [2]		
7. エンジニアリング	1. 講義	ヒューマンファクターとテクノロジー(DS) [2] テクノロジーと文化(DS) [2]			
	2. 演習・実習				
8. マネジメント	1. 講義	市場とイノベーション(DS) [1] ビジネスと社会(DS) [2]	企業経営管理と社会(DS) [0]		デザイン経営学 [2]
	2. 演習・実習				

令和5年度 科目ナンバリング分類表（先端ファイブ科学専攻）

大分類 なし

大分類 AF 先端ファイブ科学専攻

大分類 AF 先端ファイブ科学専攻

3	×	3	×	3
---	---	---	---	---

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000				2000				3000				4000				5000		6000		7000	
		新先端ファイブ科学								クロウジツサイエンス				繊維学域スタートアップ【2】		繊維基礎科学(英語版e-Learning科目)【1】		テキスタイルメカニクス【2】		応用テキスタイルサイエンスⅠ【2】		応用テキスタイルサイエンスⅡ【2】	
1. テキスタイル	1. サイエンス																						
		2. エンジニアリング																					
	3. 成形加工・コンポジット																						
4. マネジメント																							
2. 先端ファイブ科学	1. インターンシップ																						
	2. セミナー																						
	3. 実験・演習																						
3. 人間工学・コミュニケーション	1. 感性																						
	2. コミュニケーション																						
4. サステナビリティ・科学技術	1. 持続可能性																						
	2. 科学技術(外部)																						

※1. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。
 ※2. 【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表 (バイオベースマテリアル学専攻)

大分類 なし		学士課程 4年				大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻		修士課程 2年		大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻		博士課程 3年			
		3				x		3		x		3			
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. バイオベースマテリアル 共通	1. 特別講義									繊維学域スタートアップ【2】		産学連携特別講義【0】	バイオベースマテリアル学特別講義【0】		
	2. セミナー											バイオベースマテリアル学国際 セミナー【1】			
	3. インターンシップ											バイオベースマテリアル学インターンシップ I【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ II【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ III【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ IV【0】
	4. 実験・演習											バイオベースマテリアル学特別 実験及び演習 I【0】	バイオベースマテリアル学特別 実験及び演習 II【0】	バイオベースマテリアル学特別 実験及び演習 I【0】	
2. バイオベースマテリアル 化学	1. 高分子化学			繊維科学基礎 サステイナブルマテリアル	生物繊維材料学					バイオベースポリマー【2】	サステイナブル材料合成化学【1】				バイオベースマテリアル化学【2】
	2. 医用材料										バイオメディカル化学【2】				
	3. 色彩科学			染色科学							バイオカラーサイエンス【1】				
3. バイオベースマテリアル 材料学	1. 多糖系材料										バイオ機能材料【2】			材料機能制御学【2】	
	2. ナノ構造				繊維ナノ構造学					ナノ材料構造【2】	ナノ材料物性【2】			材料機能構造相関【2】	
	3. ナノ繊維形成			繊維科学実験						バイオナノファイバー【2】				ナノファイバーテクノロジー【2】	
4. バイオベースマテリアル 生物学	1. バイオリファイナ リー										環境資源科学【2】			ケモバイオロジー【2】	
	2. 動物系機能物質											タンパク質機能構造【2】		応用タンパク質工学【2】	
	3. 植物系機能物質											植物機能工学【2】			

留意事項1. 【 】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)
 2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表（教職関係科目分）

大分類 TP 教職関係科目

学士課程 4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000		
1. 教職の意義等			現代教師論【0】	
2. 教育の基礎理論	1. 教育の理念・歴史・思想	教育原論【0】		
	2. 生徒の心身の発達と学習の過程		教育心理学【0】	
	3. 教育に関する社会・制度及び経営的事項	教育社会学【0】		
4. 特別の支援を必要とする生徒に対する理解		特別支援教育【0】		
3. 教育課程及び指導法	1. 教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論【0】		
	2. 各教科の指導法	数学教育法ⅠA【0】	数学教育法ⅠB【0】	
		数学教育法ⅡA【0】	数学教育法ⅡB【0】	
		理科教育法ⅠA【0】	理科教育法ⅠB【0】	
		理科教育法ⅡA【0】	理科教育法ⅡB【0】	
		情報教育法Ⅰ【0】	情報教育法Ⅱ【0】	
		工業教育法【0】		
	3. 道徳の指導法		道徳教育の理論と実践【0】	
	4. 特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法【0】		
5. 教育の方法及び技術		教育方法論【0】		
		視聴覚教育概説【0】		
4. 生徒指導・教育相談・進路指導等	1. 生徒指導の理論・方法	生徒指導【0】		
2. 教育相談・進路指導の理論・方法	教育相談・進路指導論【0】			
5. 演習・実習	1. 演習		教育実践演習(中・高)【0】	
	2. 実習	教育実習Ⅰ【0】		
	教育実習Ⅱ【0】			
	教育実習Ⅲ【0】			
6. 教科に関する科目(工業)	1. 職業指導	職業指導Ⅰ【0】	職業指導Ⅱ【0】	

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業
(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

令和5年度 科目ナンバリング分類表（学芸員資格科目分）

大分類 CU 学芸員資格科目

学士課程 4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 学芸員資格に必要な科目	1. 生涯学習及び社会教育の意義・特性等	生涯学習概論【0】	
	2. 博物館に関する基礎	(博物館概論)	
	3. 博物館の管理・経営	博物館学Ⅰ【0】	
	4. 博物館の資料	(文化財学)	
	5. 博物館資料の保存	文化財保存科学【0】	
2. その他		(京の産業技術史)	(デザインマネジメント)

留意事項・括弧書きの科目は人間教養科目または課程専門科目であり、元の大分類から始まるナンバリングが適用される。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業
(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)